

栃木県議会議員

平木ちさこ 活動レポート

元気ネット

発行
平木ちさこ
事務所
〒321-1274 栃木県日光市土沢1962
TEL 0288-26-6739
FAX 0288-26-6759
Eメール hiraki-chisako@nifty.com

ホームページ <http://hirakichisako.com> (奇数月末日更新)

県内のドッグセンターは、栃木市と日光市にある。日光市小林にある栃木県ドッグセンターで県内の犬や猫の実情を聞いた。

野犬が一時より減ったとは言え、県内の野犬は八溝山系に未だ多く、鶏や豚、牛の飼育をする大きな農家があるため、その飼料を食べて育っている。日本の野良犬が生息する北限は栃木、群馬、茨城の北関東3県あたりで、東北地方に行くと越冬が難しいため育ちにくい。県内の平成27年度の犬の捕獲や猫の引き取り数は1,966頭。そのうち852頭が殺処分となった(18年度は同7,154頭・6,871頭)。野良猫は捕獲の対象にはならないが、繋がれていない犬は対象となる。迷子の犬は、すぐ動物愛護センターのホームページに写真入でアップして約3割が飼い主に戻っている。

ここに来る犬と猫は半々くらいの割合で、仔犬は生後1、2カ月のうちに毎月の譲渡会ですべて新しい飼い主20数家族に引き取られている。希望があっても65歳以上の人には、犬の面倒を見られなくなった時のことを考え、断るか、仔犬ではなく人に慣れている成犬を勧めている。

飼い主の高齢化を理由に飼えなくなった犬や猫の持ち込みを繰り返さないためだ。

*

この度、犬・猫殺処分ゼロを目指す「栃木県ドッグセンターの廃止と栃木県動物愛護基金の創設を目指す会」から「栃木県内の不幸な犬や猫を減らすことを求める陳情」が県議会に寄せられた。

内容は、以下。

- ① 県、宇都宮市で犬猫の殺処分を減らすための協議会の設置。
- ② 県ドッグセンターを廃止して、運動が出来る新しい保護施設の建設。災害時のペットの避難スペースの開設。
- ③ 保護施設の建設費用や保護された動物の検査、治療費用などに充てる栃木県動物愛護基金の創設。
- ④ 過剰生産を防ぐため、販売規制、繁殖規制の条例の制定。

この陳情の審議が私が属する生活保健福祉常任委員会に付託された。

民進党・無所属会派としては、継続審査を主張したが、順調に殺処分数が減っていることや、野犬の被害等を上げて多数決で否決された。

*

茨城県では昨年、県議会議員からの提案で「犬猫殺処分ゼロ条例」が作られた。

今年度は3,400万円がふるさと納税から回された。この中からエサ代や里親になる時の一時金の費用等が賄われる。茨城

県は海があるためか、野良犬が多く殺処分数も多い中で、この条例が作られた経緯がある。

*

私は北海道の農家で育ったため、犬は番犬として、猫はネズミ捕りとしてのそれぞれの役があった。

その頃は、生まれたての猫の赤ちゃんが4、5匹段ボール箱に入れられて藪の中によく捨てられていた。学校の行き帰りに、牛乳やパンを運び何とか育てたいと何度も試みたが、だいたいは動き始めて箱から這い出しては、1匹そしてまた1匹とトンビやカラスに喰われてしまい悔しい思いをした。

育ちとは本当に恐ろしいものだと感じるのは、私にとって犬や猫にはあくまでも「餌をやる」という感覚が拭い切れない。現代の「ごはんをあげる」というペット感覚にはどうしてもなれない。とはいえ殺処分ゼロは賛成だ。

どう猛な野犬の捕獲は被害を防ぐために必要だが、捕獲後にエサを与えて飼い続けられる施設があれば良いと思う。そもそも、その犬もまたはその両親も人間に飼われていたが、飼い切れずに山に捨てられ、山の中で野良犬として生きるためには、どう猛にならざるを得なかったのだろう。

今月に入り訪れた日光の県ドッグセンターには、15匹の成犬と7匹の仔犬がいた。

きれいに掃除された臭い一つ無い檻の中に大型犬と小型犬と仔犬がそれぞれ分けられていた。コンクリートの土間にペンキを塗った8畳ほどの檻の一角に暖房が効いたわずかのスペースがある。犬たちはそこに静かに寝ていて吠えもしなかった。「今年の1月から暖房が入り、犬たちも落ち着きました、せめて最後くらい……」と世話をしている県の職員が言う。犬に話しかける姿を見て、どう猛な犬でもこういう人にならいつかは心を許すのではないかと思った。5年前までは捕獲後4日で処分されたが、捕獲数減少に伴い、現在は9日間以上は保護して、迷子については極力元の飼い主に戻すように努めている。

*

県動物愛護指導センターは、「とにかく飼い主のモラル、最後まで飼いつける覚悟と繁殖制限を！」と何度も何度も口を酸っぱくして繰り返す。日光市では飼犬等の去勢手術に犬4,000円、猫3,000円。避妊手術に犬5,000円、猫4,000円を世帯当たり2頭まで補助金を交付している。(問い合わせ：日光市生活安全課 ☎0288-21-5112へ)

- 栃木県ドッグセンターの廃止と栃木県動物愛護基金の創設を目指す会 ☎090-3085-4202
- 動物愛護指導センター ☎028-684-5458
- 県ドッグセンター(日光) ☎0288-26-8058



日光明峰高校が特例校に認められる ～1学年2学級も可能へ～

これまで県教育委員会では県立高校の適正規模を1学年当たり4学級以上とし、生徒数が減ると、統合などにより維持をしてきた。

一方で、県の周辺部や中山間地域など通学の不便な地域では生徒数が減っている。そのような現状を鑑みて、近隣に他の高校が無い学校は特例として平成30年度の募集から1学年3学級または2学級でも生徒の募集を可能とすることがこの度、決まった。

但し、2学級で生徒募集を開始してから3年目以降すなわち平成32年、33年と2年連続で定員40人×2クラス×3分の2未満＝53人未満となった場合は、地元地域とも十分に協議し原則として統合などにより募集を停止する、としている。

加えて、学校協議会を設置し、地域と一体となって魅力ある学校づくりに取り組み、生徒の確保に努めるようにとある。この協議会とは、保護者や地域住民などから構成されるもので、一定の権限を持って学校運営に参画し、学校が地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」づくりを進めて行くのが狙いだ。明峰高ではすでに昨年からの近隣の4自治会長を含めた組織を立ち上げている。さらに卒業生のアイスホッケー選手などにも拡大していくという。

*

因みに、県内で3学級が認められた学校は、那須高校、黒羽高校、馬頭高校、茂木高校、益子芳星高校の5校。2学級は日光明峰高校のみとなった。

県教委では、国際観光都市・日光に「日光」と名の付く高校が無くなってしまふのは惜しい、何とか地域の努力で存続して欲しいと期待を込めてくれた。これまで、1学年の適正規模は4クラス以上と堅持してきたのは全国で栃木県だけ。

昨年の「県立高校再編に関する検討会議」からの提言の中にも、特例高校として3クラスまで緩和すべきではとあったが、2学級まで一気に認めてもらえるとは、特段の配慮としか思えない。この、県の配慮に対し、地元の日光市もいよいよ策を講じて欲しい。市と市民とが一体となり、日光明峰高校を盛り上げて行く。

*

若者たちを都会から呼び戻すUターン施策は地方創生の要であるが、首都圏へ行った身近な若者に望みつつもハードルの高さを感じる。せめて今、すでにここにいる若者たちを大切に育てて行くことから始めなければと思う。

若者がいる街、若い子たちを見るとつい頬が緩む。生意気な子を見ても、いやいや私の若いときはもっと生意気だったゾ、と思う。彼らは代え難い不思議な力を持っている。

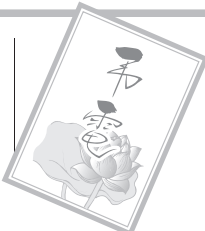
県議になって2年が過ぎようとしている。「葬式に弔電は出さないのか」との声が未だにある。

当初、せめて応援カードをいただいた5,600世帯には出そうかとも考えたが、番地までは公開されないため、名簿との照合が出来ない。そうすると、亡くなった方全員に出すのか否かの二者択一になる。

お世話になっている方々からの強力な「弔電の勧め」もあったが、考えあぐねた結果、すべてのご葬儀に弔電は出さないことに決めた。

なぜなら全員に出すことを選んだならば、見ず知らずの方々のご不幸の席で、県議・平木の名が「拝読」されることになり、

弔電失礼いたします



私としては何とも忍びがたい。お勧めくださった方々には本当に申し訳なく、行き届かなかった方々には失礼してしまっていると思う。

*

批判はあれども、私の中ではひとつの「改革」だと考えている。

今も日々、お悔やみ欄を見てはお名前とお顔が浮かんだり、縁のある方のところへはお悔やみに行っている。皆さまの周りの方々にご不幸があり、私が失念しているような場合は、ご連絡を戴ければ幸いです。「たいそうぶって調子込んでっから落ちたんだよ」と、次の選挙で言われないように「議員の本分」の方で頑張ります！どうぞお許し下さい。

お待ちしております ※会場はいずれも平木事務所です。

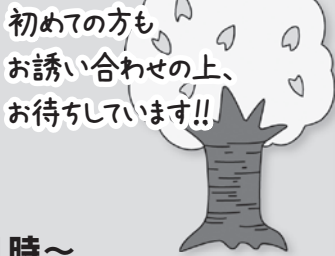
元気会 毎月第1土曜日 10時～11時30分

日時▶ 4月1日(土) 5月6日(土)
●会場：元気ネット事務所(日光市土沢1962)
●内容：「県政報告」他 ※会費、申し込みは不要

女性の茶話会 毎月第1水曜日 19時～21時

日時▶ 4月5日(水)「親子断絶防止法案について」他
5月3日(水)「憲法について」他
●会場：元気ネット事務所(日光市土沢1962)
●参加費：300円(軽食付き)
●申込み：前日まで ☎0288-26-6739へ
(☎090-4825-3775、またはショートメールへ)

恒例！春のお花見会



初めての方も
お誘い合わせの上、
お待ちしております!!

日時▶ 4月15日(土) 11時～
●会場：元気ネット事務所(日光市土沢1962)
●参加費：1,000円
【お申し込み】
電話 0288-26-6739 FAX 0288-26-6759 メール可
締め切り：4月12日(水)

雨天順延

※平木ちさこは、HPオフィシャルサイトまたはFBに、「今日の活動」を毎日アップしています。どうぞご覧ください。(平木ちさこで検索してください)

県政について、みなさんのご意見をお寄せください。



【Eメール】 hiraki-chisako@nifty.com

※平木ちさこの「元気ネット」ホームページは奇数月末日更新です。

※平木ちさこオフィシャルサイト <http://hirakichisako.com>

平木ちさこ 検索

